

中国企業の対外投資が活発だ。2016年は前年比44%増の1700億ドル余りで、対内投資を上回ったとみられる。対日投資も当然増えており、ニーズの高まりを背景に中国で初となる中国語の対日投資実務ガイド、『投資日本—実務指南』（陳軼凡、黄紹軍、聶明、何偉銘主編 一定価42.00元）が上海訳文出版社から昨年9月に発刊された。

同書は中国国内の手続きの実務から始まり、対日投資に関わる日本の制度の概要と実務、日本企業の買収、日本の不動産への投資、日本の外資企業に対する投資政策と産



業ガイド、そして付録として日本の商習慣や社会のルール、公共の場での振舞い方など文化面も紹介している。

同書作成を指揮したのは、北京、上海、広州に拠点をもつ世澤弁護士事

務所から日本の虎門中央法律事務所に共同事業を展開するために赴任してきた陳軼凡弁護士だ。彼が司令塔となり、日中双方の弁護士はじめ弁理士、会計士、税理士、翻訳者など約90人の専門家を総動員し、刊行決定からわずか9カ月で出版に漕ぎ着けた。情報が目まぐるしく変わる昨今、SNSのウィチャットで週4回情報を更新し抜かりなく周到にサービスを提供している。

対日投資では、東京五輪を睨んで観光関係のホテル業などへの投資が活発だという。一方、供給サイドの改革を深めている中国では、日本の技術と中国のマーケットを結びつけた投資も

増加傾向にあるようだ。陳弁護士は、「中日双方が協力することでドリームがつかれる。1 + 1をどこまで広げていけるか、想像しきれないほどの発展の空間が広がっている」と期待を膨らませている。中国各地の経営者を対象にセミナーなどを通じ啓蒙活動を活発に展開、中国と日本での滞在が半々というほどエネルギーを注いでいる。

日本にはまだまだ外資に対する根強い警戒感がある。そもそも資本というものに対する拒絶感、特に『チャイナマネー』に対して強い。これを克服するために陳弁護士は

次の2点を挙げた。「資本に対する日本人の考え方を変わってもらえるよう、資本の力によってマジックをおこしたい。もう一つがコミュニケーションだ。コミュニケーション不足から感情的になってしまいがちなので、もっと冷静に、もっと実務的に対応してもらえるよう我々が間に入りたい。ただのビジネスではなく中日の間を如何にいい流れにしていくかということだ」。

2018年にはリニューアル版の発行を予定するなど、長いスパンで版を重ね、この本に命をもたせたいと強調した。

采访稿件大意：

中国企业的对外投资活动很活跃。2016 年中国对外投资额同比增长 44%，达 1700 多亿美元，超过了对内投资额。对日投资当然也在增长，在此高需求背景下，首次在中国编撰了中文版的对日投资实务指南——《投资日本—实务指南》（陈轶凡、黄绍军、聂明、何伟铭主编，定价 42.00 元），该书已由上海译文出版社于去年 9 月发行。

本书介绍了中国国内的实务审批程序、对日投资所涉日本的制度概要及实务、日本企业的收购、日本的房地产投资、日资企业投资政策和产业指南，并在附录中介绍了日本的商业习惯和社会规则、公共场合行为举止等日本文化。

主导本书制作的，是在北京、上海、广州均设有分所的世泽律师事务所及其共同事业日本虎门中央法律事务所的合伙人陈轶凡律师。陈轶凡律师作为总指挥，动员了以中日双方的律师为首的包括代理人、会计师、税务师、翻译等在内的约 90 名专家，自决定发行之时起仅用了 9 个月即付诸出版。在信息瞬息万变的今日，通过微信社交网络平台每周更新 4 次信息，提供周到全面的服务。

在对日投资中，看准东京奥运会带来的利好，对旅游相关的酒店业等的投资相当活跃。另一方面，在供给侧改革深化的中国，将日本的技术与中国的市场相结合的投资也呈增长趋势。“中日双方的合作能够创造梦想。1+1 能产生多大的延伸效应，扩展着无尽想象的发展空间”，陈律师对此翘首以盼。陈律师将以中国各地的企业家为对象，通过研讨会等形式积极开展投资启蒙活动，往返奔走于中国与日本之间，为此倾心尽力。

在日本，对外商投资仍怀有根深蒂固的警惕感。本就存在对资本的反感，尤其是对“中国资本”的反感更甚。如何消除这种反感呢？对此，陈律师举了 2 点，“要改变日本人对资本的固有观念，需要运用资本之力施展魔术。另外一点，是沟通。沟通的不足往往容易造成感情的隔阂，因此我们要站在中立的立场，以便更冷静、更专业地应对。这不单单是在做生意，还关乎着中日之间如何保持源远流长的友好关系”。

陈律师强调，预计将于 2018 年发行本书的新版等，其将长期致力于版本的更新，使本书保持旺盛的生命力。